



公益財団法人仁科記念財団
第 51 回 理 事 会 議 事 録

1. 日 時 令和 7 年 10 月 27 日（月曜日） 17 時 30 分～18 時 30 分
2. 形 式 オンライン 会議（Zoom による）
3. 出席理事：総数 10 名（理事現在数 10 名）
梶田隆章、安藤恒也、永長直人、早野龍五、家泰弘、
上菴義朋、佐々木節、須藤 靖、初田哲男、藤川和男
出席監事：
伊藤公孝、宮寫和男
出席事務局長：
松林孝昭

4. 議事の経過と結果

第 51 回理事会をオンライン会議として開始するにあつて、出席（参加）理事、監事、全員の音声および映像が共有されていることを確認した。
定刻、梶田隆章理事長が議長となり、出席理事数が定款第 37 条 3 項に定める定足数 6 名に達していることを確認の上、理事会開会を宣言した。

(1) 業務執行状況報告

議案審議に先立って、定款第 28 条第 4 項に則り、梶田隆章理事長、永長直人常務理事、安藤恒也常務理事、早野龍五常務理事より、令和 7 年度上半期に行った、それぞれ、財団運営の総理、仁科記念購演会の開催、仁科記念賞運営、財団運営の総務についての業務執行状況が個別に報告された。

(2) 議案審議

第 1 号議案：令和 7 年度（第 71 回）仁科記念賞決定の件

初田哲男仁科記念賞選考委員長より「2025 度は 21 件の推薦があり、慎重に審議した結果、1) 本間希樹 国立天文台 水沢 VLBI 観測所・教授『超長基線電波干渉計に基づく超大質量ブラックホール・シャドウ撮像への貢献』、
2) 田崎清明 学習院大学理学部・教授と押川正毅 東京大学物性研究所・教授『量子スピン系の数理的研究』

の 2 件 3 氏を受賞者としたい」旨提案があり、意見交換の後、審議の結果、本間氏の研究業績題名の英語版について微修正の提案があり、それを修正の後、全出席理事異議なく、本財団仁科記念賞規程第 6 条第 2 項に従い、令和 7 年度仁科記念賞受賞者を決定した。

第 2 号議案：仁科記念財団規程改廃の件

早野龍五常務理事より 1) Nishina Asia Award 規程の廃止、および 2) 財産管理運用規程の一部改訂（日本の格付機関を管理運用基準に加えること）の提案があり、格付け会社の 1 社でも条件を満たせばよいというのが趣旨であるとして、その部分の規定案を微修正した後、全出席理事異議なく承認された。

以上で議事を終了し、本理事会の議事録署名人は定款第 40 条に則り梶田隆章理

事長のほか伊藤公孝監事と宮嶋和男監事することとした後、議長が、本理事会の終了を宣し閉会した。

以上の議事録が正確なものであることを証するため、議事録署名人、下記に署名捺印する。

令和7年10月27日

公益財団法人仁科記念財団第51回理事会

理事長

梶田 隆章

梶田 隆章



署名人

監事

伊藤 公孝

伊藤 公孝



署名人

監事

宮嶋 和男

宮嶋 和男



本議事録の作成にかかわる職務を行ったものの氏名
公益財団法人仁科記念財団事務局長 松林孝昭